

愛知県SDGs未来都市計画（第1期）進捗報告

1. 評価について

- 2021年度末時点のKPI（重要業績評価指標）及び各取組の実績を元に、計画期間（2019～2021年度）における進捗状況を取りまとめた。
- 再掲を除く41の指標の中で、現在値の把握などができない5指標を除いた36の指標のうち、86%となる31の指標が「①目標達成に向けて進捗している」と評価され、計画の順調な進捗が見られた。

評価基準	指標数	割合
①目標達成に向けて進捗している	31	86.1%
A：目標を達成している	20	55.6%
B：目標達成には至っていないが、達成に向けて進捗している	11	30.5%
②現在値が当初値を下回っている	5	13.9%
③現在値の把握・達成度の評価ができないもの	5	—

2. KPIの達成状況

(1) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組
(経済)



KPI			
当初値（計画策定時）	目標値	現在値	達成度
県内総生産の全国シェア			
2016年度：7.3%	2020年度：7.5%程度	2018年度：7.5%	100% (①A)
製造品出荷額等の全国シェア			
2017年：14.7%	2020年：現状を上回る	2019年14.9%	③
開業率			
2017年度：6.2%	2020年度：現状を上回る	2020年度：5.9%	95% (②)
学術・開発研究機関事業所数の全国シェア			
2016年：4.9%	2020年：5.5%程度	2016年：4.9%	③
循環ビジネス等の事業化件数（施設整備の補助件数）			
2013～2018年度：61件	2013～2021年度：80件（累計）	2013～2021年度：90件（累計）	153% (①A)

(社会)



KPI			
当初値（計画策定時）	目標値	現在値	達成度
労働力率			
2018年度：63.6%	2020年：現状を上回る	2020年：64.8%	100% (①A)
労働相談件数			
2018年度：4,652件	2020年度：現状を上回る	2020年度：7,258件	100% (①A)
県民の幸福感			
2017年度：7.2点	2020年度：現状を上回る	2021年度：6.5点	90% (②)
平均理想子ども数と平均予定子ども数の差			
2018年：0.38人	2020年：0.35人程度	2018年：0.38人	③

(環境)



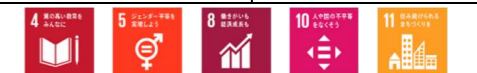
KPI			
当初値（計画策定時）	目標値	現在値	達成度
温室効果ガス総排出量の削減			
2016年度：80,801千t-CO ₂ 1.9%減（2013年度比）	2030年度：60,933千t-CO ₂ 26%減（2013年度比）	2018年度：79,540千t-CO ₂ 3.5%減（2013年度比）	13% (①B) 13%
1人1日あたりの家庭系ごみ排出量			
2014年：535g	2021年度：500g	2019年度：520g	43% (①B)
陸域からの汚濁物質の発生量			
2014年度：化学的酸素要求量 79t/日 窒素含有量 58t/日 りん含有量 4.6t/日	2019年度：化学的酸素要求量 74t/日 窒素含有量 57t/日 りん含有量 4.4t/日	2019年度：化学的酸素要求量 73t/日 窒素含有量 56t/日 りん含有量 4.5t/日	120% 200% (①A) 50%
海洋ごみ発生抑制に係る活動件数（ごみ散乱防止キャンペーン及び海ごみゼロウィーク）			
2018年度：108件	2018～2030年度：1,400件（累計）	2018～2021年度：330件（累計）	17% (①B)
「生物多様性」という言葉の意味の認識状況			
2016年：41.9%	2020年：75.0%	2020年：51.2%	28% (①B)

(2) 自治体SDGsの推進に資する取組
(経済)



KPI			
当初値（計画策定時）	目標値	現在値	達成度
①近未来技術等の社会実装の推進：「自動運転」、「介護・リハビリ支援ロボット」、「無人飛行ロボット」、「サービスロボット」の各分野での社会実装件数（4分野の計）			
2019年度：0件	2020年度：20件（累計）	2020年度：21件（累計）	105% (①A)
②スタートアップと既存企業の連携によるイノベーションの創出：スタートアップと県内企業との新たな連携等の件数			
2019年度：0件	2021年度：220件（累計）	2021年度：465件（累計）	211% (①A)
③自動車分野における新事業展開支援：ワークショップ参加企業の新規事業展開件数			
2019年度：0件	2020年度：2件（累計）	2020年度：5件（累計）	250% (①A)
④「ものづくり×AI・IoT」をテーマとした大学対抗ハッカソンの開催：参加学生数			
2019年度：65名（予定）	2021年度：100名	2021年度：53名	△34% (②)

(社会)



KPI			
当初値（計画策定時）	目標値	現在値	達成度
①若者の活躍促進：25～44歳の完全失業者数			
2018年：25,000人	2021年度：25,000人以下	2021年：41,000人	△64% (②)
②女性の活躍促進：管理的職業従事者に占める女性の割合			
2017年：13.5%	2020年：20.0%	2017年：13.5%	③
②女性の活躍促進：支援プログラムによる女性起業家の育成数			
2019年度：0人	2021年度：60人（累計）	2021年度：60人	100% (①A)



K P I			
当初値 (計画策定時)	目標値	現在値	達成度
③高齢者の活躍促進：高齢者（65歳以上）の就業者数			
2018年平均：461千人	2021年：471千人	2021年：502千人	410% (①A)
④障害者の活躍促進：民間企業における障害者の雇用数			
2018年6月：32,500人	2021年：37,000人	2021年：36,554人	90% (①B)
⑤外国人の活躍促進：早期適応研修カリキュラム説明会の参加企業・団体数			
2018年度： 0企業・団体等	2021年度： 150企業・団体等（累計）	2021年度： 215企業・団体等（累計）	143% (①A)

(環境)



K P I			
当初値 (計画策定時)	目標値	現在値	達成度
①「あいち地球温暖化防止戦略2030」の推進：温室効果ガス総排出量の削減			
2016年度： 2016年度の1年間で 1,293千t-CO ₂ 増	2021年度： 2019～2021年度の3年間 平均で1,262千t-CO ₂ 減	2018年度： 1,060千t-CO ₂ 減	③
②EV・PHV・FCVの普及促進：次世代自動車等先進エコカーの県内普及台数			
2017年度：1,867,049台	2020年度：200万台	2020年度：2,328,330台	347% (①A)
②EV・PHV・FCVの普及促進：充電インフラの県内設置基数			
2018年度： 1,901基・1,229箇所（累計）	2020年度： 2,000基・1,451箇所（累計）	2020年度： 1,948基・1,269箇所（累計）	47% 18% (①B)
②EV・PHV・FCVの普及促進：水素ステーションの県内整備基数			
2019年8月末：26基（累計）	2025年度：100基（累計）	2021年度：36基（累計）	14% (①B)
③循環型社会に向けた取組：循環ビジネス等の事業化検討件数（補助件数）			
2013～2018年度： 49件	2013～2021年度： 73件（累計）	2013～2021年度： 78件（累計）	121% (①A)
③循環型社会に向けた取組：海岸漂着ごみ組成調査件数			
2018年度：0件	2020年度：3件	2020年度：3件	100% (①A)
④自然との共生に向けた取組：三河湾環境再生パートナーシップ・クラブサポーター数			
2018年度：1,285人	2021年度：2,250人	2022年2月末：2,295人	105% (①A)
④自然との共生に向けた取組：生態系ネットワーク協議会の構成員数			
2018年度：237団体	2021年度：260団体	2021年度：250団体	57% (①B)
⑤行動する「人づくり」：環境講座受講者数			
2018年度：5,079人	2021年度：13,700人	2022年2月末：16,205人	129% (①A)

(3)「愛知目標」達成に向け先導した「愛知方式」の発展・確立プロジェクト

①三側面の取組

(経済面の取組)



K P I			
当初値 (計画策定時)	目標値	現在値	達成度
循環ビジネス等の事業化検討件数（補助件数）【再掲】			
2013～2018年度：49件	2013～2021年度：73件（累計）	2013～2021年度：78件（累計）	121% (①A)

(社会面の取組)

K P I			
当初値 (計画策定時)	目標値	現在値	達成度
養成した中高年・シニアによる講座等実施件数			
2019年2月：0回	2019～2021年度： 50回（累計）	2019～2022年2月末： 95回（累計）	190% (①A)
企業等の協力・連携により環境リーダーとして育成した大学生			
2018年度：140人	2021年度：260人（累計）	2015～2021年度：259人（累計）	99% (①B)

(環境面の取組)



K P I			
当初値 (計画策定時)	目標値	現在値	達成度
生態系ネットワーク（ビオトープ）の創出等を行った件数			
2018年度：35件	2021年度：56件（累計）	2014～2021年度：56件（累計）	100% (①A)
低炭素水素認証制度による事業計画数			
2019年6月：4件	2021年度：7件（累計）	2021年度：6件（累計）	67% (①B)
三河湾環境再生プロジェクト関連事業参加者数			
2018年度：約6,000人	2021年度：約7,000人	2021年度：1,545人	△446% (②)

②三側面をつなぐ統合的取組

K P I			
当初値 (計画策定時)	目標値	現在値	達成度
(経済→環境) 新たな広域循環圏モデルの具体化			
2018年度：0件	2021年度：3件（累計）	2019～2021年度：3件（累計）	100% (①A)
(環境→経済) 循環ビジネス等の事業化件数（施設整備の補助件数）【再掲】			
2013～2018年度：61件	2013～2021年度： 80件（累計）	2013～2021年度： 90件（累計）	153% (①A)
(経済→社会) 企業等の協力・連携により環境リーダーとして育成した大学生【再掲】			
2018年度：140人	2021年度：260人（累計）	2015～2021年度：259人（累計）	99% (①B)
(社会→経済) 環境ビジネスの新たな相談件数			
2016～2018年度： 1,000件	2019～2021年度： 1,030件（累計）	2019～2022年2月末： 1,230件（累計）	119% (①A)
(社会→環境) 生態系ネットワーク（ビオトープ）の創出等を行った件数【再掲】			
2018年度：35件	2021年度：56件（累計）	2014～2021年度：56件（累計）	100% (①A)
(環境→社会) 環境学習スタンラリー参加者数			
2018年度： 311,764人	2014～2021年度： 500,000人（累計）	2014～2022年2月末： 425,784人	61% (①B)

4. 計画期間内の取組実績

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組 (経済)



①近未来技術等の社会実装の推進

- ・県内延べ9地域において「自動運転」の実証実験を実施。
- ・「介護・リハビリ支援ロボット」に関する相談窓口を設置し、ロボット活用計画立案や、開発側と利用側のマッチング等を支援。
- ・「無人飛行ロボット」の実証実験の実施と、実験を通じたビジネスモデルの作成。
- ・県内各所における、サービスロボットの実証実験やデモンストレーションを実施。
- ・スマート農業技術の導入に向けたドローン等を活用した実証や研究、林業現場のICT化に向けた調査や実証等を実施。

②スタートアップと既存企業の連携によるイノベーションの創出

- ・県内企業とスタートアップとの連携のための商談会を実施。
- ・「Aichi-Startup 推進ネットワーク会議」を開催するとともに、「Aichi-Startup 戦略」を改定して各会員の新たな取組を記載。
- ・愛知発スタートアップを創出するための起業支援金を支給。
- ・資金獲得や事業連携等につなげる場を提供するプログラムを実施するとともに、「あいちスタートアップキャンプ」による起業家の発掘・育成やビジネスモデルのブラッシュアップ等を実施。

③自動車分野における新事業展開支援

- ・中小企業を対象とした、新たな事業展開を支援するワークショップの開催。

④「ものづくり×AI・IoT」をテーマとした大学対抗ハッカソンの開催

- ・大学生・大学院生を対象とした「大学対抗ハッカソン」を開催。



(社会)

①若者の活躍促進

- ・企業内で若者の指導・相談に対応できる人材を養成する講座や、若手・中途採用社員を対象としたオリエンテーションセミナーの開催。
- ・若者の職場定着に向けた、企業へのアドバイザー派遣による支援を通じた定着モデルの創出や、経営者等を対象としたシンポジウムの開催。

②女性の活躍促進

- ・企業経営者・人事担当者を対象とした、「女性の活躍促進サミット」の開催。
- ・一般女性社員を対象とした「女性管理職養成セミナー」や、企業の人事担当役員を構成員とし、女性活躍の現状等について意見交換する研究会の開催。
- ・起業に関心のある女性や女性経営者を対象としたセミナーや、女性起業家・女性経営者の成長やスケールアップを支援するプログラムを実施。
- ・女性の人材不足が特に顕著な業界と連携した、女性活躍に資する施策のPRを実施。

③高齢者の活躍促進

- ・事業主等を対象とした高齢者の雇用を促進する企業向けセミナーや、中高年齢者を対象とした再就職支援セミナーの開催。
- ・企業等へのシルバー人材センターに対する新規発注の提案や、センターの会員に対する技能講習を実施。
- ・あいちシルバーカレッジの開催。

④障害者の活躍促進

- ・精神障害者の特性を理解している支援者が同席する合同面接会の開催や、精神障害者を雇用する企業への調査及び雇用マニュアル・事例集の作成。
- ・農福連携窓口における農業経営体と福祉事業所等のマッチング支援や、農福連携セミナー等の農業と福祉双方で活躍する人材を育成する研修・セミナーを実施。

⑤外国人の活躍促進

- ・外国人県民がスムーズに生活するための「早期適応研修」のカリキュラム等の作成や、企業でのモデル実施、活用できる人材を育成するセミナー等の開催。
- ・留学生を対象とした県内企業でのインターンシップや、就活フォローアップ講座等の開催。
- ・外国人雇用に関するマニュアルを作成するとともに、事業主等を対象とした外国人雇用への理解を深めるセミナーを開催。



(環境)

①「あいち地球温暖化防止戦略2030」の推進

- ・市町村との協調補助により、スマートハウス等に関する設備等の導入を支援。
- ・事業者の地球温暖化対策計画書の内容に対する評価と公表を行うとともに、計画書に基づいた地球温暖化対策の促進のための助言を実施。
- ・県有施設におけるLED照明の導入や太陽光発電の屋根貸しや、市民ファンドを活用した東三河地域の公共施設への太陽光発電の導入。

②EV・PHV・FCVの普及促進

- ・事業者に対する導入補助や、新車新規登録された車に対する本県独自の自動車税の課税免除の実施。
- ・水素ステーション整備等に係る補助金の交付など、企業と協働した水素ステーションや充電インフラの整備。
- ・「あいち自動車ゼロエミッション化加速プラン」の策定や、普及加速のためのフォーラムの開催。

③循環型社会に向けた取組

- ・事業者、有識者と連携した広域循環モデルの具体化に向けた検討や、環境ビジネス事業化検討事業に対する補助金の支給を実施。

- ・三河湾大感謝祭やSDGs AICHI EXPOでの海ごみ発生抑制環境学習を始めとした、海洋ごみの発生抑制に関する県民への啓発活動を実施。
- ・家庭系、事業系双方の食品ロス量調査による食品ロスの発生状況調査や、食品ロス削減イベント等による県民・事業者への啓発活動を実施。
- ・民間施設等における木材利用に対する助成や、集材・再造林・獣害対策への補助等の実施。

④自然との共生に向けた取組

- ・生態系ネットワーク（ビオトープ）の創出支援や、事業者等によるミティゲーションの実施促進などによる「あいち方式」の展開。
- ・「愛知目標達成に向けた国際先進広域自治体連合」を先導し、エジンバラ・プロセスの共催や連合報告書の発信などの生物多様性のアピール行動を実施。
- ・農林水産物被害防止のための有害鳥獣捕獲や、第二種特定鳥獣管理計画によるニホンジカ・イノシシの管理、外来種対策研修会の開催。
- ・三河湾大感謝祭などの三河湾環境再生パートナーシップ・クラブと連携した啓発活動や、NPO等の活動支援の実施。

⑤行動する「人づくり」

- ・「あいち環境学習プラザ」での環境学習や、もりの学舎での自然体感プログラム等の実施。
- ・もりの学舎での自然体感プログラムや、「あいち環境塾」など、未就学児から社会人まで、各世代に応じた環境学習や人材育成事業を実施。
- ・県内市町村と連携した、エコアクションを促進するための参加型イベント「Let's エコアクション in AICHI」の開催。

(2)「愛知目標」達成に向け先導した「愛知方式」の発展・確立プロジェクト

①三側面の取組

(経済面の取組)



- ・「環境ビジネスコーディネーター」による相談対応、優れた技術や取組の表彰、展示会への出展支援など、環境ビジネスの事業化に向けた一貫した取組の実施。
- ・低炭素水素認証制度の運用と、認証制度に基づく低炭素水素製造実績の認証や、ゼロエミッション化の促進のための施設整備の支援を実施。
- ・専門家による、良質な企業緑地の創出・保全のための支援の実施。
- ・企業や団体に所属する社会人を対象とした「あいち環境塾」による、持続可能な社会づくりのリーダーの育成。



(社会面の取組)

- ・中高年・シニア世代の環境学習講師「あいち eco ティーチャー」による環境学習講座や、大学生が企業等の環境面の課題解決策を研究・提案する「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」の実施。

- ・NPO等と連携し、5つの県営都市公園の植生保全計画を策定。
- ・2022年11月の開園に向けたジブリパーク3エリア（青春の丘・ジブリの大倉庫・どんどこ森）の整備。また、3エリアの開園から概ね1年後の開園を目指す2エリア（もののけの里・魔女の谷）の整備。



(環境面の取組)

- ・生態系ネットワークの創出等に係る経費に対する支援や、「あいちミティゲーション」を推奨するための大規模開発事業者に対する指導の実施。
- ・低炭素水素認証制度の運用と、認証制度に基づく低炭素水素製造実績の認証や、低炭素水素シンポジウムの開催。
- ・家庭系、事業系双方の食品ロス量調査による食品ロスの発生状況調査や、食品ロス削減イベント等の食品ロス対策及び、地域循環圏の形成に向けた、事業者・有識者と連携した広域循環モデルの具体化。
- ・三河湾大感謝祭などの三河湾環境再生パートナーシップ・クラブと連携した啓発活動や、NPO等の活動支援の実施。
- ・あいち環境学習プラザの展示物整備と、環境学習の実施。

②三側面をつなぐ統合的取組

- ・オール愛知で生物多様性保全活動を行うユース組織「G A I A」による生物多様性保全活動の実施。
- ・「生物多様性とSDGs 多世代フォーラム・ユース会議」の開催。